



## 日本民族と日の丸、水、阿吽の心

橋本 奨\*

今世紀は、あと20年足らずで21世紀になり、この世紀末は、人類史上の一大転換期だという声があだだんと高まっている。昨年、筆者はアメリカのコロネル大学惑星研究所の所長であるカール、セーガン教授の著作「コスモス」を拾い読みしたが、彼は冒頭に「日本のみなさんへ」という次のメッセージを書いている。

彼は、『日本の国旗は天文学的である。それは、私たちに一番近い恒星の太陽をえがいたものである。国旗を定めた日本人の先祖たちは、人間と宇宙との間の深い関係をいくらか理解していたに違いない。……』そして、彼のメッセージの終りには、「現在は、宇宙探検の時代である。私たちは、人類史上極めて重要な時代に生きている。私たちの子孫は、私たちのことを驚異の目をもってかえりみることだろう。そのような重大な時期に、日本が大きな役割を果してくれることを期待しながら、この日本版を太陽の国のみなさんにささげる。」と述べている。そこで、吾々、日本民族と日の丸の心について、日頃頭にのぼる自説を述べてみたいと思う。

### ○ 日本民族とは

日本民族の定義は、人によりいろいろなされているが、その二、三のものを拾ってみると、次のようなものがある。

「日本人とは、日本語を母国語として、日本語のなかに育ち、日本語を媒介として日本文化を身につけた人々である。」

又、「日本人とは、日本列島に住み、同じ体質を持ち、日本文化—風俗、習慣、心性—を一にし、日本語を語る一群の人種群である。」更に、「日本人とは、西歴7～8世紀以後、この日本列島の中で、倭国人プラス朝鮮渡来人プラ

\*橋本 奨 (Susumu HASHIMOTO), 大阪大学, 工学部, 環境工学科, 教授, 医博, 工博

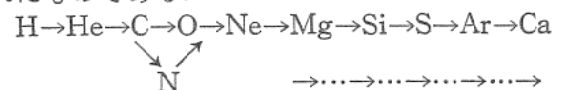
ス隼人 (ハヤト), プラス蝦夷で混成された種族である。」等々である。

### ○ 日の丸の生いたち

日の丸の起源は神話の時代からだといわれる。これは、太陽をかたどった旗で、古代からの日本民族の太陽信仰に根ざしている。「続日本紀」701年 (大宝元年), 朝廷の儀式に日幡, 月幡を用いた記録がある。武田信玄と上杉謙信らの戦国の武将が日の丸の旗印を用いた。又, 豊臣秀吉も軍船の船印に日の丸の旗印を用いた。江戸幕府も寛永年間 (1624～1644) の頃から船に日の丸の旗を掲げていたといわれる。幕末に, 外国との国交を求められ, 日本も国旗をもつ必要にせまられ, 1854年 (安政元年), 幕府は島津斉彬の建議を入れて, 「異国船に紛れざるやう日本総船印は白地日の丸幟」と定めた。安政条約批准のためアメリカを訪問した咸臨丸には日の丸が掲げられていた。日の丸が正式に日本の国旗に制定されたのは, 1870年 (明治3年) 1月27日太政官布告第57号による。

### ○ 太陽の日の丸と H<sub>2</sub>O

吾々人間を含め, 此の世のあらゆる生き物は, H<sub>2</sub>O がなければかた時も生きることではできない。H<sub>2</sub>O の水は, 水素と酸素からできている。Hの水素は, 地球上で行われているあらゆる営みの源の太陽の構成元素である。つまり, 太陽は, Hの圧縮高温ガスの「かたまり」で, Hから He への原子核反応が行われている巨大な核融合炉である。一方, Oの酸素は, 次の矢印で示しているように, Hの水素より後で生まれたものである。



また, 此の世の森羅万象あらゆる物質は, すべて元素からできている。そして, これらは何れも, Hを起源として生まれてきたものである。

このように考えると、 $H_2O$  の水素は此の世の本元的元素であり、 $O$ はもとより、すべてのものは $H$ から生まれたものである。そして、 $H_2O$  の水素は、太陽即ち赤い日の丸を表わし、 $H_2O$  の酸素は天空の大空即ち白地の部分を表していると考えてもよい。

### ○ $H_2O$ の $H$ は女性、 $O$ は男性

此の世の生物は、今から約12億5000万年前に天地自然の進化の任務を帯びて無性から有性の生殖に変わり、雌雄に分かれた。人間を含め、あらゆる生き物は、男性と女性、陰と陽とに分かれて対をなし、男性は女性から生まれ出たものである。今、 $H_2O$  の水素と酸素を生き物の性になぞらえると、 $H$ は女性であり、男性は $O$ であるとみてもよさそうである。つまり、 $H$ は陽で $O$ は陰となり、陰の男性の $O$ は、陽の女性の $H$ にひかれて、両者は生き物の本元ともいえる  $H_2O$  の水になるものと考えてもよさそうである。

### ○ 日の丸と $H_2O$ 、阿吽の心

$H_2O$  の $H$ と同じように、阿吽の阿の字とその音は、天地宇宙のはじまりを意味するものといわれる。“あ”は口を開いた時の発声で、すべての字と音の基本で、宇宙森羅万象の生成の本源である。 $H$ と $O$ の合体した  $H_2O$  と同じように、阿吽の吽の字とその音は、弘法大師の著作「吽字の義」に記されているように、天地宇宙を意味するものといわれる。“うん”は口を閉じた時の発声で、すべての字または音を含み、宇宙森羅万象の具象化を表わす。“あ”は大日如来、“うん”は金剛薩埵の密教的呼び名である。吽は『いろは、にほへと、ちりぬるを、わかよたれそ、つねならむ、うるのおくやま、けふこえて、あさきゆめみし、ゑひもせす、ん』吽というように、歌の一番最後に置かれて、弘法大師は歌われている。つまり、吽字の意味は、天地宇宙、大地、終り、結末を表わすとされている。真言密教の開祖弘法大師は、身、口、意の三密の行法をこの歌にたくされて歌われたものと思われる。 $H_2O$  の水の靈験は、真言密教では、水垢離の水行といわれ、水によって染汚の身から煩惱の垢を落とし、清浄な身体を得よ

うとするものである。水は大日如来の意を体した不動明王の施設つまり大日如来そのものでもあり、水をかぶることにより、不動明王の加持を得て、それを身にうけ、煩惱を去って五智を得、清浄な身体を得ようとするものだといわれている。このように、 $H_2O$  の水は人間にとって、精神的にも肉体的にも極めて靈験あらたかなもので、阿吽そのものである。従って日の丸は水と阿吽の心を表わしているものといえる。

### ○ 日本民族は阿吽民族

毎年、毎年、年の暮れには、お寺の除夜の鐘を聞いて吾々は正月を迎える。そして、1年、1年、齢をきざんで、年をとって此の世を去る。我々日本人は、誰でも元旦にはお寺と神社へ必ずお参りするものである。お寺の仁王門には、阿と吽の二人の仁王さんが、1人は大きな口をあけ、阿という大きな声を出して、御立派の体をはって叫んでおられる。横を向けば、他の1人は吽と口を結んで、足をふんばって、きばっておられる。また、元旦には「すがすがしい」「大らかな」「さわやかな」心ばえで神社へお参りに行けば、拝殿の前で狛犬様が、一方は吽、他方は阿といっておられる。このように、神社とお寺には、生き物の心、人間の心の本元、即ち阿と吽、いいかえれば $H$ と $O$ の合体した  $H_2O$  の水の心、即ち日の丸の心が教えられているように思われる。

『生まるるも、阿字よりくれば、死とても、  
もとの不生に もどりこそすれ』

印融辞世

『夫れ道は本より虚無なり。終もなく始も  
なし。陰陽の気構えて尤靈則ち起る。起  
るを生と名け、帰るを死と称す。生死の  
分は物の大帰なり』

空海

この歌と言葉は“あ”と“うん”の一体性、つまり本初と究極が本質的には一元であるとする。「阿吽の心」また「 $H_2O$  の心」「日の丸の心」を最も単的にとらえているように思われる。以上、自説を要約すると、『日本民族は太陽の日の丸民族であり、また海人の水界民族、阿吽民族である』といってもよい。